

2021年3月期 第1四半期

(2020年4月～2020年6月)

決算説明資料

2020年8月

 東洋合成工業株式会社

1. 2021年3月期 第1四半期 決算概要

2. 2021年3月期 業績見通し

2021年3月期 第1四半期 業績ハイライト

- 売上高は6,589万円（前年同期比 +631百万円、+11%）の増収。
- 利益面では、感光材増強に伴う労務費・減価償却費等が増加したものの、電子材料市場が好調であったこと、高付加価値製品の売上が増加したこと等により、前年同期比 営業利益 +28%、経常利益 +47%、当期純利益 +48%の増益。

(百万円)	前期1Q 実績	当期1Q 実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	5,958	6,589	+631	+11%
営業利益	594	760	+166	+28%
経常利益	531	781	+249	+47%
当期純利益	366	542	+175	+48%
1株当たり当期純利益	46.21	68.38		
為替レート (USD)	¥108/\$	¥108/\$		

2021年3月期第1四半期 業績要旨

■売上高

- ✓ 6,589百万円（前年同期比+631百万円、+11%）
- ✓ 感光材：PAG、ポリマー等、先端領域の製品が好調に推移。
化成品：電子材料関連、香料関連が増加。
ロジスティック関連は、荷動き量が減少。タンクの高稼働は持続。

■営業利益

- ✓ 760百万円（同+166百万円、+28%）
- ✓ 感光材の生産増強投資に伴う固定費増（同+64百万円）を売上増と製品比率の変化により、増益。

■経常利益

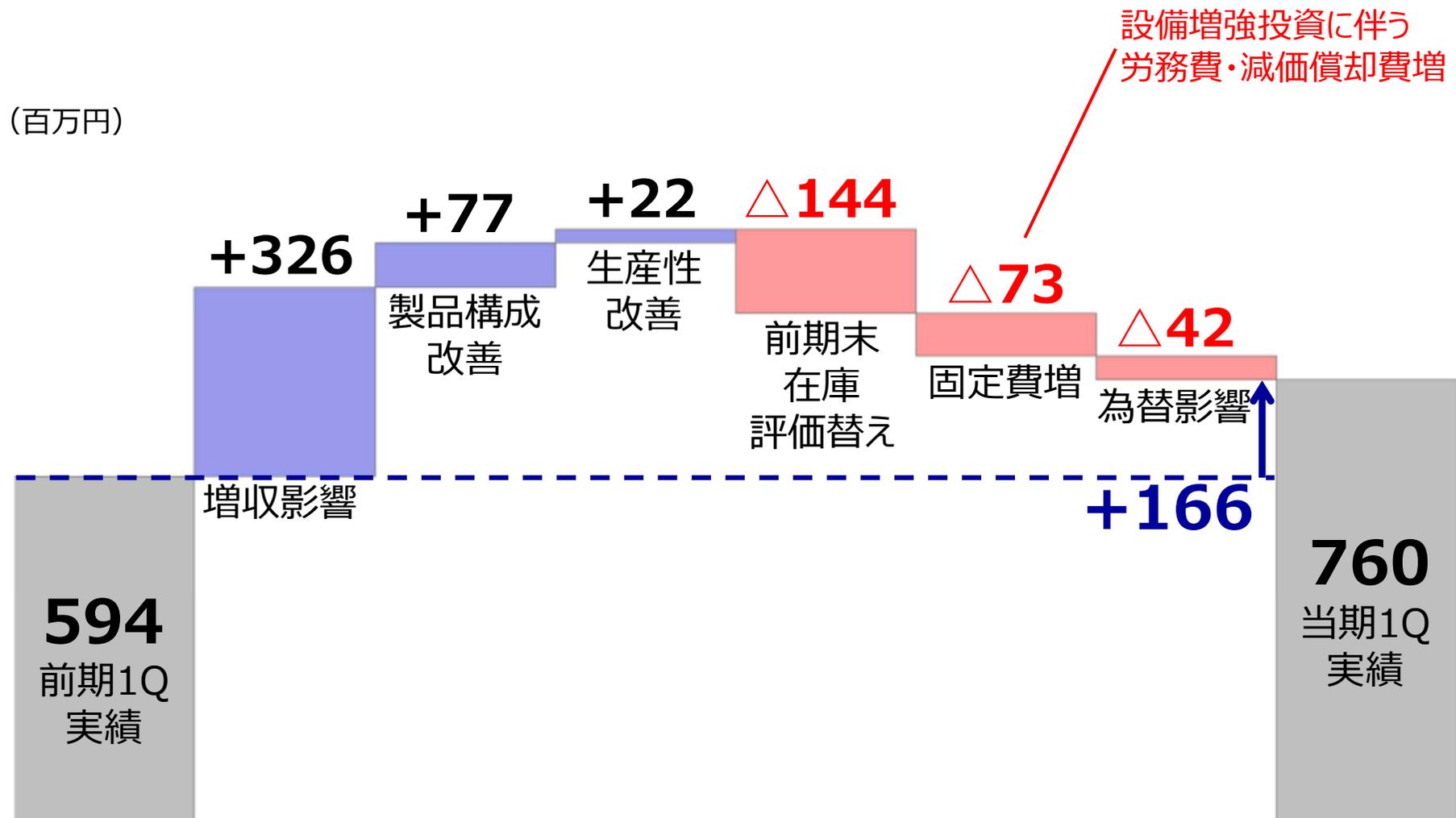
- ✓ 781百万円（同+249百万円、+47%）
- ✓ 営業外損益：為替影響、保険金、金利により費用減、収入増。

■当期純利益

- ✓ 542百万円（同+175百万円、+48%）

営業利益 前年同期比増減要因

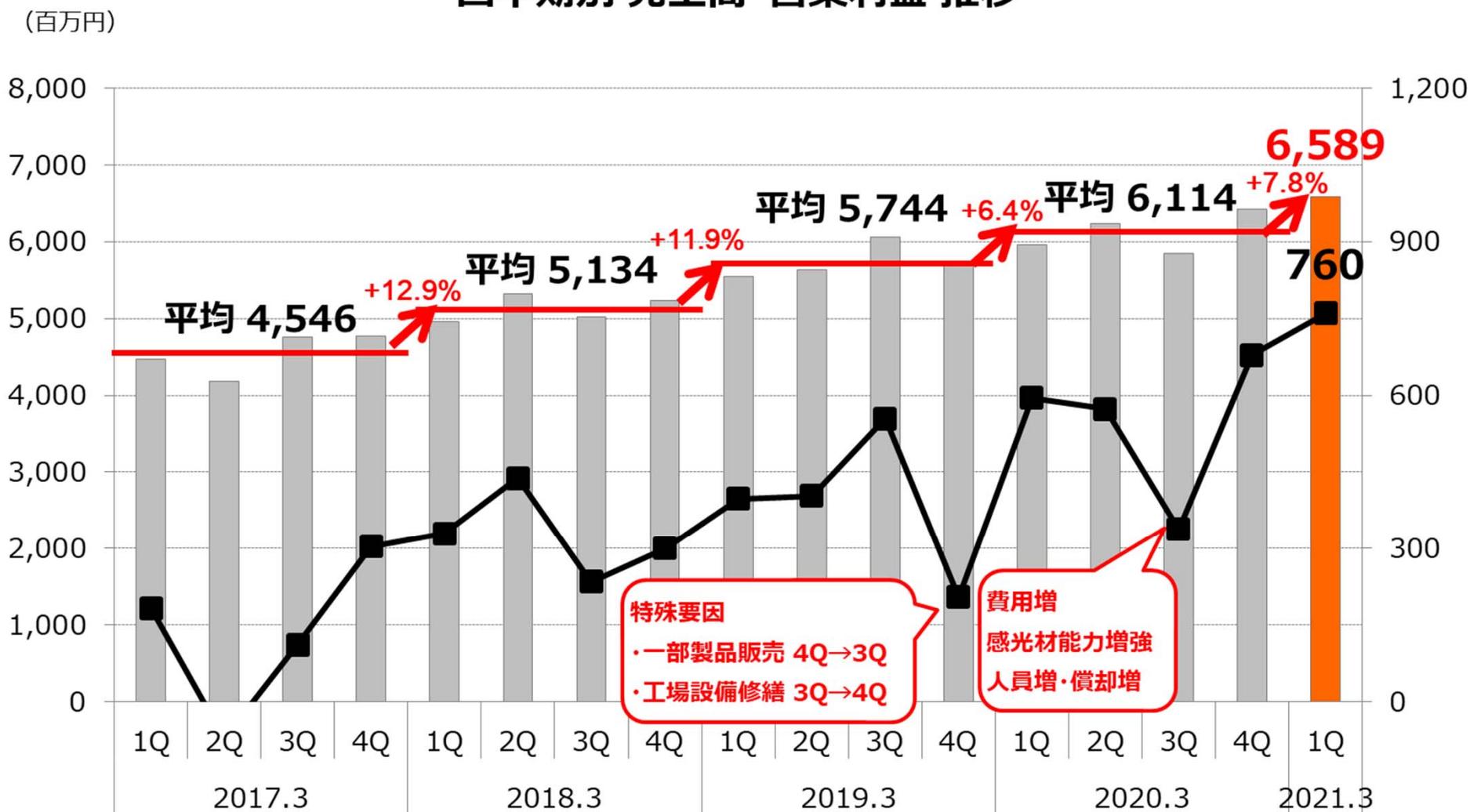
- 費用増を販売増で吸収し、増益。



四半期別 売上高・営業利益推移

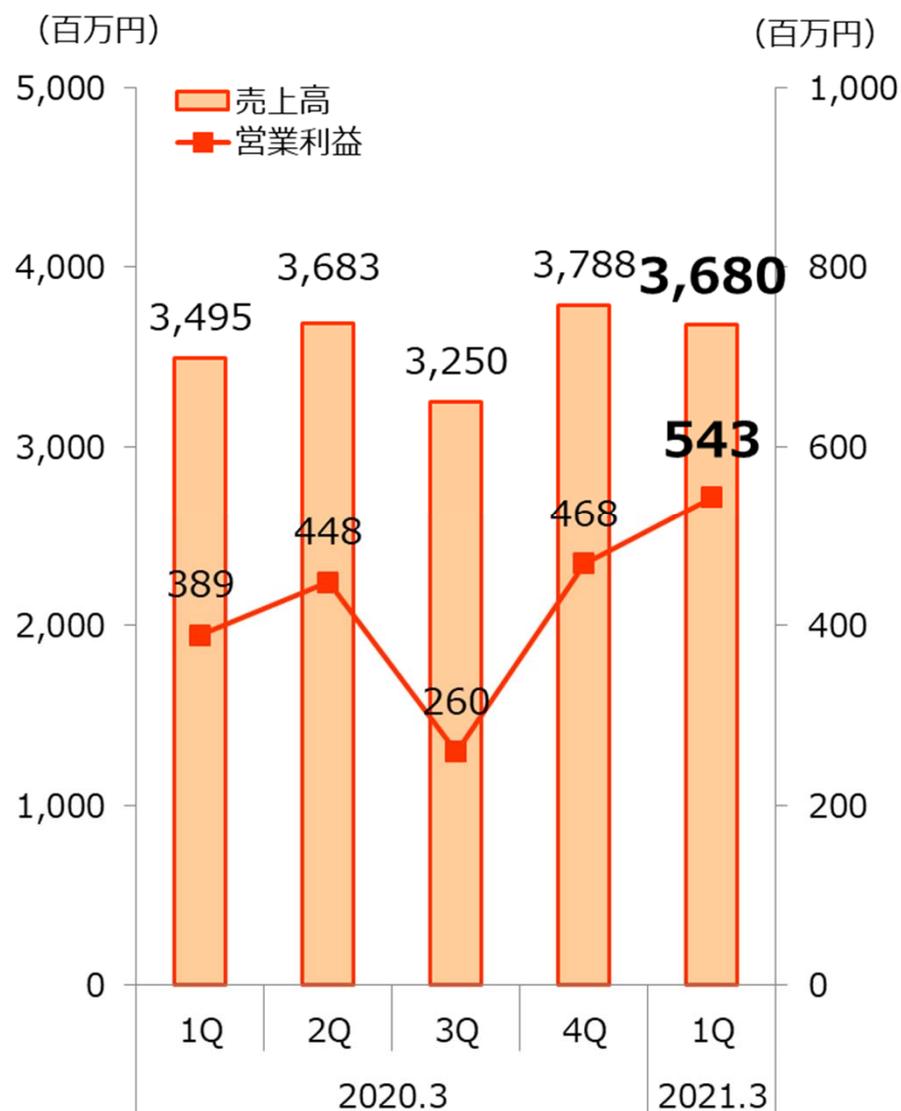
- 売上は着実に増加し、当四半期は過去最高の売上・営業利益を記録。

四半期別 売上高・営業利益 推移



感光性材料事業セグメント

売上高・営業利益



売上高：3,680百万円

(前年同期比+185百万円、+5%)

- 先端半導体向け製品が好調に推移。
- ディスプレイ関連は微増。

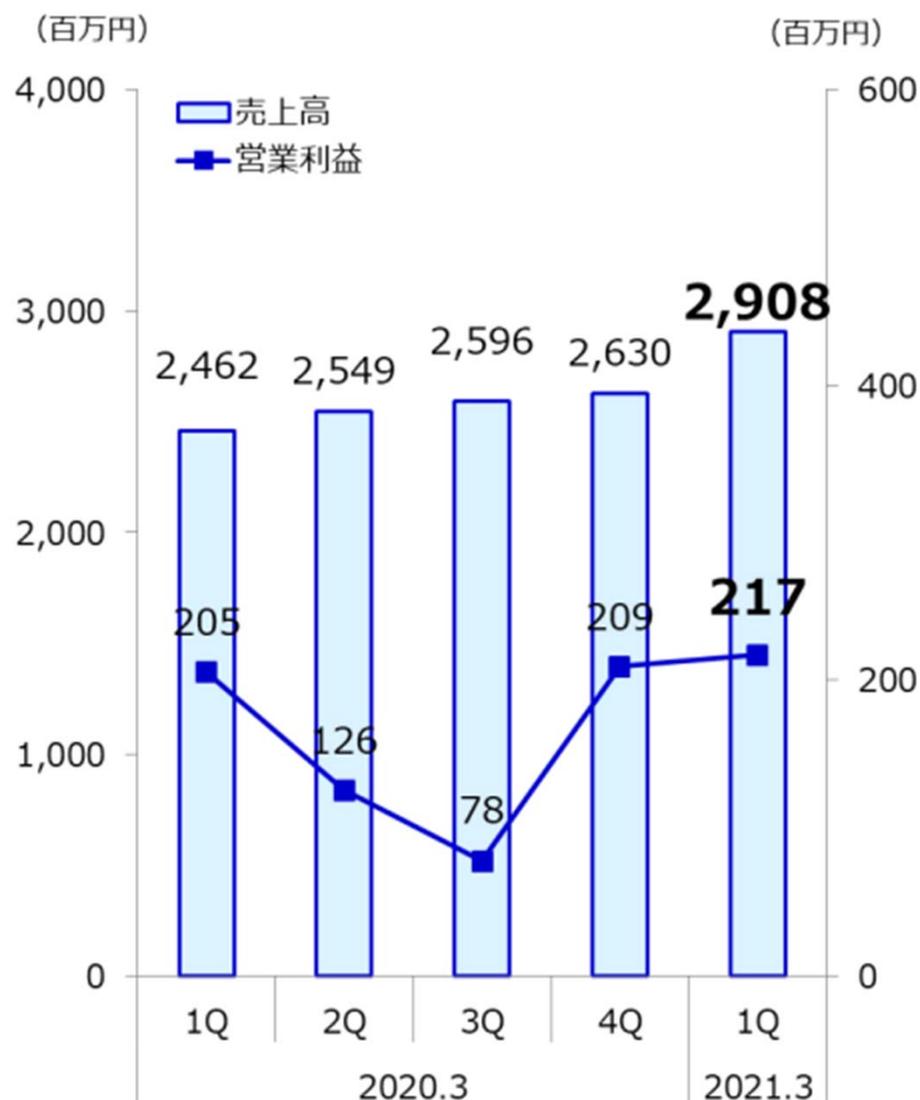
営業利益：543百万円

(同+154百万円、+40%)

- 設備増強に伴い労務費、減価償却費等の費用が増加したものの、高付加価値製品の販売増により増益。

化成品事業セグメント

売上高・営業利益



売上高：2,908百万円

(前年同期比+445百万円、+18%)

- 電子材料関連の高純度溶剤、香料製品の販売が好調に推移。
- ロジスティック関連（ケミカルタンクターミナル）は荷動き量が減少。タンクの高稼働は持続。

営業利益：217百万円

(同+12百万円、+6%)

- 高付加価値製品の販売が好調。

2021年3月期第1四半期 損益計算書

- 売上高は、6,589百万円（+631百万円、+11%）の増収。
- 売上総利益は、高付加価値製品の販売増加により、能力増強に伴う固定費増を吸収し、1,518百万円（+175百万円、+13%）。
- 営業利益は、販管費が+1%の増加に留まり、760百万円（+166百万円、+28%）の増益。

(百万円)	2020.3期 1Q	2021.3期 1Q	増減額	増減率
売上高	5,958	6,589	+631	+11%
売上原価	4,615	5,070	+455	+10%
売上総利益	1,342	1,518	+175	+13%
販売管理費	748	757	+9	+1%
営業利益	594	760	+166	+28%
営業外収益	20	59	+39	+192%
営業外費用	83	39	△44	△53%
経常利益	531	781	+249	+47%
特別損益	△2	△11	△8	△301%
税引前当期純利益	528	769	+241	+46%
法人税等合計	161	226	+65	+40%
当期純利益	366	542	+175	+48%

[売上総利益 +175]
高付加価値製品の販売増加により、売上総利益率が改善
(22.5%→23.0%)

[営業外収益 +39、
営業外費用 △44]
受取保険金 +35、
為替差損 △42

2021年3月期第1四半期 貸借対照表

- 有形固定資産は、感光材の設備能力増強投資により+949百万円の増加。
- 設備投資に伴い、有利子負債は+1,616百万円増加。
- 株主資本は+463百万円増加。

(百万円)	2020.3末	2020.6末	増減額
流動資産	15,503	16,718	1,215
現金預金	3,582	4,031	449
売上債権	4,654	4,886	231
棚卸資産	7,019	7,111	92
その他	246	688	442
固定資産	23,627	24,564	937
有形固定資産	22,112	23,062	949
無形固定資産	407	499	91
投資・その他	1,107	1,002	△104
資産合計	39,130	41,282	2,152
負債	28,561	30,245	1,684
仕入債務	3,000	3,482	482
有利子負債	18,188	19,804	1,616
その他	7,372	6,957	△414
純資産	10,569	11,037	467
株主資本	10,563	11,026	463
評価・換算差額等	5	10	4
負債・純資産合計	39,130	41,282	2,152

[有形固定資産+949]
感光材の設備能力増強投資により増加

[自己資本比率]
26.7% (前期末比△0.3pt)

1. 2021年3月期 第1四半期 決算概要

2. 2021年3月期 業績見通し

2021年3月期 業績予想の修正

- 汎用製品が景気減退影響を受けたものの、高付加価値製品の販売増により利益見通しを修正。
- 想定為替レートは ¥105/\$、1株当たり配当金額は年間20円から変更なし。

2Q累計 (百万円)	2020.9 修正前	2020.9 修正後	増減額	増減率
売上高	12,500	12,500	0	0%
営業利益	1,000	1,150	+150	+15%
経常利益	950	1,120	+170	+18%
当期純利益	620	780	+160	+26%

通期 (百万円)	2021.3 修正前	2021.3 修正後	増減額	増減率
売上高	25,000	25,000	0	0%
営業利益	1,800	1,950	+150	+ 8%
経常利益	1,700	1,870	+170	+10%
当期純利益	1,100	1,260	+160	+15%

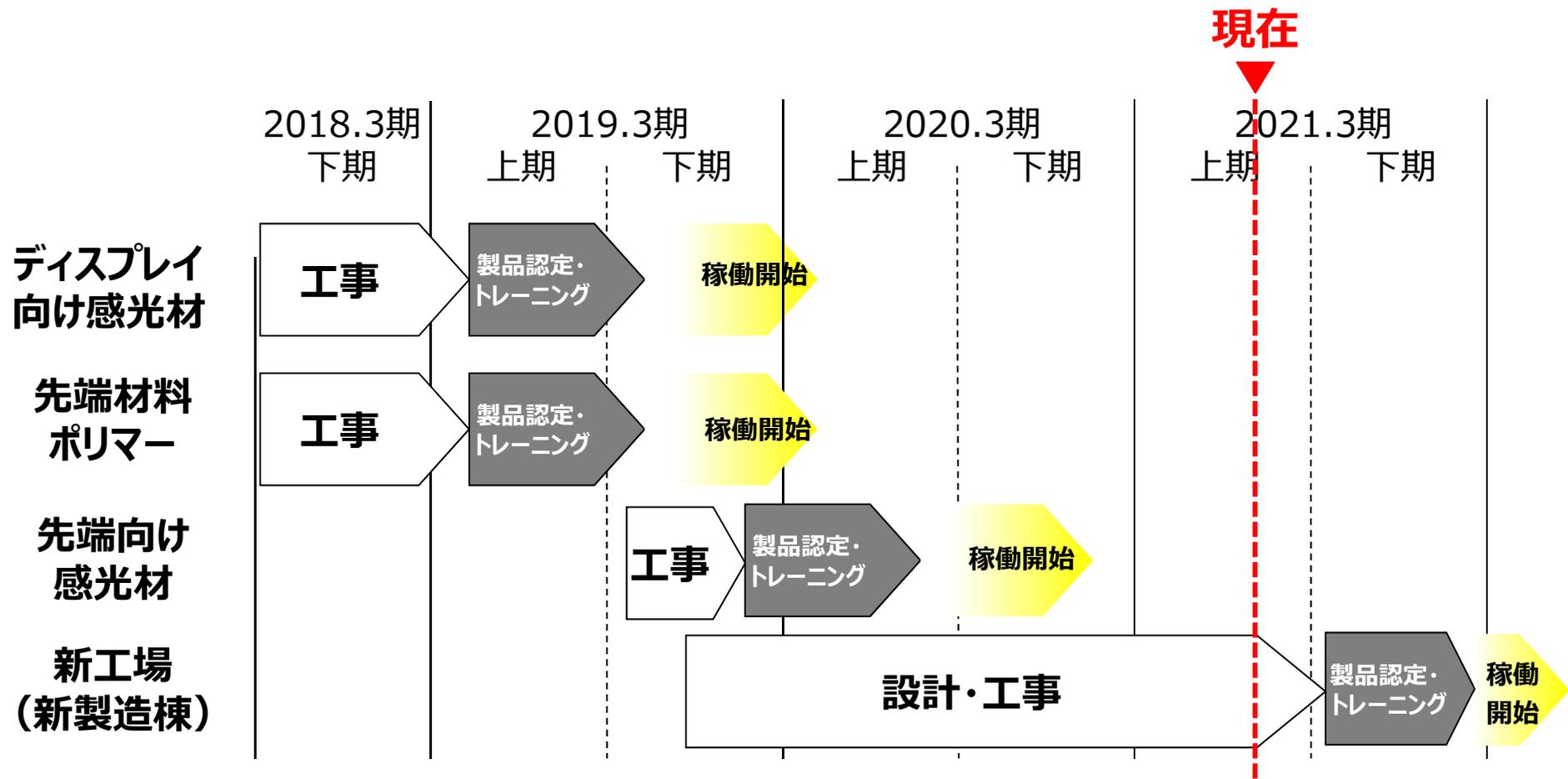
2021年3月期 業績進捗

- 2Q累計の計画値に対して順調に進捗。

(百万円)	2021.3 2Q累計 業績予想 (修正後)	2021.3 1Q 実績	進捗率
売上高	12,500	6,589	53%
営業利益	1,150	760	66%
経常利益	1,120	781	70%
当期純利益	780	542	70%

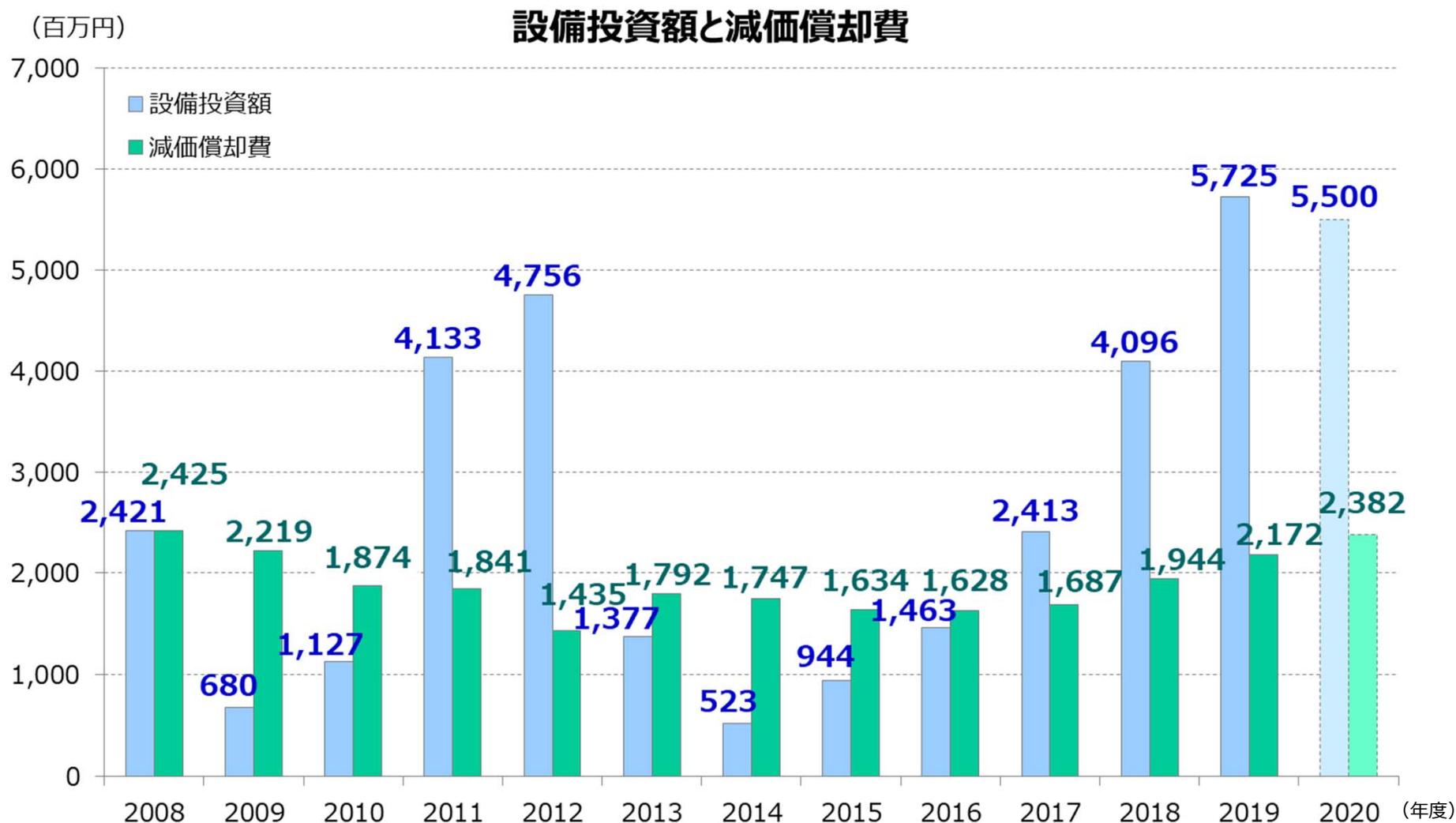
(参考) 感光材の生産能力増強の進捗

- 継続的な需要増に対応するため、感光材の設備能力増強も計画通り進捗。
- 第1弾のFPD・ポリマー向け設備、第2弾の先端半導体向け設備の増強は完了。
- 第3弾となる新製造棟も2020年9月末の完成に向け順調に進行中。



(参考) 設備投資額と減価償却費の推移

- 2020年度も設備投資は前期同水準の約55億円を計画。
- 減価償却費は、2008年と同水準まで回帰。



独創的な視点で世界へ

Individual Development, to the global Chemical

 **東洋合成工業株式会社**

(見通しに関する注意事項)

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

従いまして、実際の業績は、様々な要因やリスクにより、この業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。